

規程第6条関係 授業科目の種類
経済学プログラム(昼間主コース)

プログラム専門科目	経済学プログラム専門科目	基礎科目	科目番号	授業科目	単位数	応用科目	科目番号	授業科目	単位数				
			経済101	社会科学のための数学(基礎)	2		DS316	データサイエンス中級	2				
			経済102	社会科学のための数学(応用)	2		経済401	産業組織論	2				
			経済103	ミクロ経済学(基礎)	2		経済402	地域政策論	2				
			経済104	ミクロ経済学(応用)	2		経済403	都市経済学	2				
			経済105	マクロ経済学(基礎)	2		経済404	ファイナンス理論	2				
			経済106	マクロ経済学(応用)	2		経済405	応用統計学	2				
			経済107	社会科学のための統計(応用)	2		経済406	応用計量経済学	2				
			経済108	社会科学のための統計(基礎)	2		経済407	社会経済史	2				
			経済301	日本経済史	2		経済408	国際マクロ経済学	2				
			経済302	西洋経済史	2		経済409	島嶼経済論	2				
			経済303	経済政策論	2		経済410	教育経済学	2				
			経済304	財政学	2		経済411	地方財政論	2				
			経済305	金融論	2		経済412	アジア経済論	2				
			経済306	計量経済学	2		経済413	応用金融論	2				
			経済307	国際経済学	2		経済421	競争・公共政策入門	2				
			経済308	ゲーム理論	2		DS422	データサイエンス上級	2				
			経済309	環境経済学	2		経済499	卒業研究	2				
			経済310	労働経済学	2								
			経済311	公共経済学	2								
			経済312	開発経済学	2								
			経済313	社会政策論	2								
			経済314	法と経済学	2								
			経済315	情報処理実習	2								
			DS317	データサイエンスのためのPythonプログラミング	2								
			地域・国際実践力科目	科目番号	授業科目		単位数		科目番号	授業科目	単位数		
				経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ		2		DS556	データサイエンス実践演習Ⅰ	2		
				経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ		2		DS557	データサイエンス実践演習Ⅱ	2		
				経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ		2		DS558	データサイエンス実践演習Ⅲ	2		
				経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ		2		DS559	データサイエンス実践演習Ⅳ	2		
				経済414	協同組合論		2		DS560	データサイエンス実践演習Ⅴ	2		
				経済551	実践経済学Ⅰ		2		DS561	データサイエンス実践演習Ⅵ	2		
				経済552	実践経済学Ⅱ		2						
				経済553	実践経済学Ⅲ		2						
	経済554	実践経済学Ⅳ		2									
	経済555	実践経済学Ⅴ		2									
	経済559	実践経済学Ⅵ		2									
	経済560	実践経済学Ⅶ		2									
	経済561	実践経済学Ⅷ		2									

規程第6条、8条関係 履修区分及び授業内容
プログラム専門科目（昼間主コース）

		科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容	必修	選択必修	選択
経済学プログラム専門科目	基礎科目	経済101	社会科学のための数学（基礎）	2	2-0	2	前又は後	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する（基礎）。		●	
		経済102	社会科学のための数学（応用）	2	2-0	2	前又は後	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する（応用）。		●	
		経済103	ミクロ経済学（基礎）	2	2-0	2	前又は後	基礎では、各経済主体（消費者・企業）の行動を中心に、ミクロ経済学の初中級の内容を講義する。	●		
		経済104	ミクロ経済学（応用）	2	2-0	2	前又は後	応用では、基礎で学んだ内容（経済主体の行動）にもとづいて市場機構のはたらきを中心に、ミクロ経済学の初中級の内容を講義する。	●		
		経済105	マクロ経済学（基礎）	2	2-0	2	前又は後	マクロ経済学（応用）とともに、マクロ経済学の初中級の内容を講義する。	●		
		経済106	マクロ経済学（応用）	2	2-0	2	前又は後	マクロ経済学（基礎）とともに、マクロ経済学の初中級の内容を講義する。	●		
		経済107	社会科学のための統計（応用）	2	2-0	2	前又は後	経済データの分析を行うために必要な基礎的な統計学の理論について講義する。		●	
		経済108	社会科学のための統計（基礎）	2	2-0	2	前又は後	社会科学研究を行う上で習得すべき基礎的なデータ処理と統計学の基礎を講義する。		●	
		経済301	日本経済史	2	2-0	2～3	前又は後	近世から近代における経済政策、諸産業の発展過程とその際に生じた公害問題、環境問題などについて講義する。			●
		経済302	西洋経済史	2	2-0	2～3	前又は後	コロンブスによる「新大陸」の発見に始まる西洋を中心としたグローバリゼーションと、アジアへの工業化の波及について講義する。			●
		経済303	経済政策論	2	2-0	2～3	前又は後	経済政策に関わる諸原理と経済理論の政策的応用。日本経済や世界経済を取り巻く構造と変化、政策対応。市場機構と資源配分、経済成長と経済安定化、グローバル化の経済への影響、エネルギー、環境、社会保障など。			●
		経済304	財政学	2	2-0	2～3	前又は後	公共サービスの提供、予算、税制、財政赤字、社会保障、財政政策など、様々な財政学のテーマを取り上げ、その現状と課題を理解しながら、財政の見方を養う。			●
		経済305	金融論	2	2-0	2～3	前又は後	金融経済に関わる経済理論を体系的に講義する。			●
		経済306	計量経済学	2	2-0	2～3	前又は後	基礎的な計量経済学を概説する。			●
		経済307	国際経済学	2	0-2	2～3	前又は後	国際貿易、国際直接投資の理論・政策について講義する。			●
		経済308	ゲーム理論	2	2-0	2～3	前又は後	ゲーム理論に関する初中級の内容を講義する。			●
		経済309	環境経済学	2	2-0	2～3	前又は後	環境問題や環境政策を経済学の視点から読み解くための基礎知識を学ぶ。			●
		経済310	労働経済学	2	2-0	2～3	前又は後	労働供給、労働需要の理論的な理解を土台として、賃金や雇用、失業のメカニズムを学習する。			●
		経済311	公共経済学	2	2-0	2～3	前又は後	公共部門の存在根拠のほか、公共部門による活動やその効果について、主にミクロ経済学の視点から解説する。			●
		経済312	開発経済学	2	2-0	2～3	前又は後	発展途上国の貧困問題を経済学的に考察し、経済開発や開発援助のあり方などについて学習する。			●
		経済313	社会政策論	2	2-0	2～3	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を考える。社会保障、労働問題、地域再生、文化政策などの分野や「子どもの貧困」などの今日的課題も取り扱う。			●
		経済314	法と経済学	2	2-0	2～3	前又は後	経済モデルを使い、経済学がどのように法制度を説明するのかを不法行為・所有権法等の分野を通して講義する。			●
		経済315	情報処理実習	2	2-0	2～3	前又は後	インターネットの活用とホームページの作成について学習する。			●
		DS317	データサイエンスのためのPythonプログラミング	2	2-0	2～3	前又は後	データサイエンスを学ぶ上で必須となるプログラミングの知識を実践的に学ぶ。（授業内でプログラミングを行うため各自パソコンを持参）	●		
	応用科目	DS316	データサイエンス中級	2	2-0	2～3	前又は後	プログラミング言語「Python」を用いて、主に機械学習の分類問題を学ぶ。			●
		経済401	産業組織論	2	2-0	2～4	前又は後	企業や企業の集合としての産業全体の経済行動を対象にしたミクロ経済学の応用について講義する。			●
		経済402	地域政策論	2	2-0	2～4	前又は後	地域の公共政策的課題や経済・産業振興に関する諸課題について取り扱う。地域における政策主体や政策目的、地方自治体レベルでの、産業政策、医療・福祉、交通、都市政策等のの政策形成プロセス。			●
		経済403	都市経済学	2	2-0	2～4	前又は後	東京一極集中の問題をはじめ、交通混雑、土地利用、住宅や企業の立地、環境、財政など都市が抱える様々な問題を学習する。			●
		経済404	ファイナンス理論	2	2-0	2～4	前又は後	金融資産の概略、価格付け等に関する理論を講義する。			●
		経済405	応用統計学	2	2-0	2～4	前又は後	時系列モデルや一般化線形モデルなど、主に経済データの分析に利用されるより発展的な統計分析の手法について講義する。			●
		経済406	応用計量経済学	2	2-0	2～4	前又は後	計量経済学の応用編。ミクロ計量分析やマクロ計量分析について講義する。			●
		経済407	社会経済史	2	2-0	2～4	前又は後	近代都市の形成過程とその際に生じた諸問題について講義する。			●
		経済408	国際マクロ経済学	2	2-0	2～4	前又は後	国際金融の基礎知識、国際マクロ経済の理論・政策について講義する。			●
		経済409	島嶼経済論	2	2-0	2～4	前又は後	島嶼地域の特性を踏まえた経済のあり方と持続的発展の可能性について考察する。			●
		経済410	教育経済学	2	2-0	2～4	前又は後	経済学的な思考を土台に教育行動を合理的に説明し、その上で教育や教育システムのあるべき姿を考察する。			●
		経済411	地方財政論	2	2-0	2～4	前又は後	地方分権をめぐる様々な論点を経済学の視点から考察し、我が国の地方財政制度の現状や課題について解説する。			●
		経済412	アジア経済論	2	2-0	2～4	前又は後	アジア経済の発展パターンとその要因を経済学的に考察し、他の発展途上国・地域と比較しながら発展のために必要な政策などについて学習する。			●
		経済413	応用金融論	2	2-0	2～4	前又は後	金融政策、金融機関の業務、金融制度、および金融商品の運用について学習する。			●

地域・国際実践力科目		経済420	FP特殊講義Ⅲ	2	2-0	2～4	前又は後	相続に関する基本的な事項、例えば法定相続人の範囲、遺産分割協議、相続税や贈与税、家庭裁判所における調停・審判分割、遺言書の書式や効力、成年後見人制度などを概説する。			●
		経済421	競争・公共政策入門	2	2-0	2～4	前	競争政策や公共政策に関わる諸問題に対して、経済学はどう分析し、評価し、政策提言すればよいのか、などについてミクロ経済学的アプローチを使い、その基礎について講義する。			●
		DS422	データサイエンス上級	2	0-2	3	前又は後	コンピュータでの購買記録など身の回りの様々なもののやりこみへが電子化され膨大なデータが蓄積される時代になり、これらのデータから有用な知見を引き出せる人材(データサイエンティスト)が社会から強く求められています。データサイエンス上級では、プログラミング言語「Python」を用いて、深層学習(ディープラーニング)を中心に学びます。授業内でプログラミングを行うため各自パソコンを持参してください。			●
		経済499	卒業研究	2	2-0	4	後	卒業論文の作成を行う。	●		
	地域・国際実践力科目	経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	2-0	3	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。	●		
		経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	2-0	3	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。	●		
		経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	2-0	4	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。	●		
		経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	2-0	4	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。	●		
		経済414	協同組合論	2	2-0	2～3	前又は後	地域再生を実践する主な主体として市民活動と協同組合を想定して、実践的な地域再生と仕事おこしの方法を学習することを目的とする。			●
		経済551	実践経済学Ⅰ	2	2-0	2～3	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。			●
		経済552	実践経済学Ⅱ	2	2-0	2～3	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。			●
		経済553	実践経済学Ⅲ	2	2-0	2～3	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。			●
		経済554	実践経済学Ⅳ	2	2-0	2～3	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。			●
		経済555	実践経済学Ⅴ	2	2-0	2～3	前又は後	実践経済学のうち、とくに社会的インパクト投資に関する学習を集中的に行う。			●
		経済559	実践経済学Ⅵ	2	2-0	2～4	前又は後	実践経済学のうち、とくに社会的インパクト投資に関する学習を集中的に行う。			●
		経済560	実践経済学Ⅶ	2	2-0	2～4	前又は後	実践経済学のうち、とくに社会的インパクト投資に関する学習を集中的に行う。			●
		経済561	実践経済学Ⅷ	2	2-0	2～4	前又は後	実践経済学のうち、とくに社会的インパクト投資に関する学習を集中的に行う。			●
		DS556	データサイエンス実践演習Ⅰ	2	2-0	2～4	前又は後	データサイエンスの知識と技術を用い、人や組織との連携のもと、課題解決型の講義と演習を行う。			●
		DS557	データサイエンス実践演習Ⅱ	2	2-0	2～4	前又は後	データサイエンスの知識と技術を用い、人や組織との連携のもと、課題解決型の講義と演習を行う。			●
		DS558	データサイエンス実践演習Ⅲ	2	2-0	2～4	前又は後	データサイエンスの知識と技術を用い、人や組織との連携のもと、課題解決型の講義と演習を行う。			●
		DS559	データサイエンス実践演習Ⅳ	2	2-0	2～4	前又は後	データサイエンスの知識と技術を用い、人や組織との連携のもと、課題解決型の講義と演習を行う。			●
		DS560	データサイエンス実践演習Ⅴ	2	2-0	2～4	前又は後	データサイエンスの知識と技術を用い、人や組織との連携のもと、課題解決型の講義と演習を行う。			●
		DS561	データサイエンス実践演習Ⅵ	2	2-0	2～4	前又は後	データサイエンスの知識と技術を用い、人や組織との連携のもと、課題解決型の講義と演習を行う。			●

規程第18条関係 卒業要件
経済学プログラム(昼間主コース)

1.卒業単位は合計124単位とする。

2.共通教育科目は30単位とする。

授業科目の区分				指定科目	必修	選択	選択必修	必要単位数	備考
※1 共通教育	基盤領域	第1外国語		・英語又は英語以外の一つの外国語 ・第一外国語が英語の場合、「大学英語」、 「英語講読演習中級」を含む	6	6		6単位以上	
		第2外国語		・英語又は英語以外の一つの外国語 ・第二外国語が英語の場合、「大学英語」を含む	4			4単位以上	
		データリテラシー		「情報科学演習」	2			2単位以上	
		キャリア・ダイバーシティ		「キャリア形成入門」	2			2単位以上	
		健康運動系		指定科目なし	2			2単位以上	
	教養領域	学問分野別教養	人文社会科学	指定科目なし	4			4単位以上	
			自然科学	指定科目なし	2			2単位以上	
		琉大特色・地域創生		指定科目なし	2			2単位以上	
		グローバル							
		小計				24	6	0	
	①共通教育総計				30				

(※1) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。
アカデミックスキル科目は卒業要件の単位には含めません。

3.専門教育科目は94単位以上とする。

科目区分			指定科目	必修	選択	選択必修	必要単位数	備考	
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目		基礎演習	2			16単位以上	18単位以上
				社会科学のためのゲーム論入門			6		
				経済学概論					
				データサイエンス初級					
				日本経済入門					
			※2		8				
	プログラム複合科目					2	2単位以上		
	プログラム専門科目	経済学プログラム専門科目	(基礎科目)	ミクロ経済学(基礎)	8		22単位以上	44単位以上	
				ミクロ経済学(応用)					
				マクロ経済学(基礎)					
				マクロ経済学(応用)					
				データサイエンスのためのPythonプログラミング	4				
				社会科学のための統計(基礎)					
				社会科学のための統計(応用)					
社会科学のための数学(基礎)									
社会科学のための数学(応用)									
			10						
(応用科目)		卒業研究	2			10単位以上			
				8					
	地域・国際実践力科目		地域・国際実践力演習Ⅰ	8		指定科目 の4科目 を含み、 合計12単位以上			
地域・国際実践力演習Ⅱ									
地域・国際実践力演習Ⅲ									
地域・国際実践力演習Ⅳ									
			4						
専門教育選択科目			※3		32		32単位以上		
小計				20	62	12			
②専門教育総計				94					
①+② 合計				124					

(1) 学部共通基盤専門科目は合計18 単位以上を履修すること。
・専門基盤力科目は、合計16単位以上履修すること。
・※2 専門基盤力科目のうち、所属するプログラムを含む3つのプログラムにまたがるように修得すること。
・プログラム複合科目は、合計2単位以上履修すること

(2) プログラム専門科目は合計44単位以上を履修すること。
○経済学プログラム専門科目は、合計32単位以上履修すること。
○地域・国際実践力科目は、合計12単位以上を履修すること。

(3) 専門教育選択科目は、合計32単位以上を履修すること。
○※3 学部共通基盤専門科目、経済学プログラム専門科目、及び地域・国際実践力科目で、必要単位数を超過して取得した単位は、専門教育選択科目の単位とすることができる。
○他プログラム・他学部提供の専門科目(教職科目含む)は、専門教育選択科目の単位として 読み替えることができる。

(4) 登録上限単位数及び上限超過基準については、別紙を確認すること。
(5) 卒業要件に算入できる遠隔授業の単位数は、60単位を上限とする。ただし、単位認定を受けた科目(認定科目)のうち、遠隔授業の科目も含む。
(6) 原則として、必修以外の科目について夜間主コースに開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。

規程第6条関係 授業科目の種類
経済学プログラム(夜間主コース)

プログラム専門科目	経済学プログラム専門科目	基礎科目	科目番号	授業科目	単位数	応用科目	科目番号	授業科目	単位数	
			B経済101	社会科学のための数学(基礎)	2		B経済402	地域政策論	2	
			B経済102	社会科学のための数学(応用)	2		B経済403	都市経済学	2	
			B経済103	ミクロ経済学(基礎)	2		B経済404	ファイナンス理論	2	
			B経済104	ミクロ経済学(応用)	2		B経済405	応用統計学	2	
			B経済105	マクロ経済学(基礎)	2		B経済406	応用計量経済学	2	
			B経済106	マクロ経済学(応用)	2		B経済407	社会経済史	2	
			B経済107	社会科学のための統計(応用)	2		B経済408	国際マクロ経済学	2	
			B経済108	社会科学のための統計(基礎)	2		B経済409	島嶼経済論	2	
			B経済205	地域経済入門	2		B経済411	地方財政論	2	
			B経済206	国際経済入門	2		B経済412	アジア経済論	2	
			B経済207	経済史入門	2		B経済413	応用金融論	2	
			B経済208	社会政策入門	2		B経済421	競争・公共政策入門	2	
			B経済254	沖縄経済入門	2		B経済499	卒業研究	2	
			B経済301	日本経済史	2					
			B経済302	西洋経済史	2					
			B経済303	経済政策論	2					
			B経済304	財政学	2					
			B経済305	金融論	2					
			B経済306	計量経済学	2					
			B経済307	国際経済学	2					
			B経済308	ゲーム理論	2					
			B経済309	環境経済学	2					
			B経済310	労働経済学	2					
			B経済311	公共経済学	2					
			B経済312	開発経済学	2					
			B経済313	社会政策論	2					
			B経済314	法と経済学	2					
			B経済315	情報処理実習	2					
			BDS317	データサイエンスのためのPythonプログラミング	2					
	地域・国際実践力科目		科目番号	授業科目	単位数		科目番号	授業科目	単位数	
			B経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2		B経済554	実践経済学Ⅳ	2	
			B経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2		B経済555	実践経済学Ⅴ	2	
			B経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2		B経済556	実践経済学Ⅵ	2	
			B経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2		B経済557	実践経済学Ⅶ	2	
			B経済551	実践経済学Ⅰ	2		B経済558	実践経済学Ⅷ	2	
			B経済552	実践経済学Ⅱ	2		B経済414	協同組合論	2	
			B経済553	実践経済学Ⅲ	2					

規程第6条、8条関係 履修区分及び授業内容
プログラム専門科目(夜間主コース)

		科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容	必修	選択必修	選択
経済学プログラム専門科目	基礎科目	B経済101	社会科学のための数学(基礎)	2	2-0	2	前又は後	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する(基礎)。		●	
		B経済102	社会科学のための数学(応用)	2	2-0	2	前又は後	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する(応用)。		●	
		B経済103	ミクロ経済学(基礎)	2	2-0	2	前又は後	市場を構成する消費者や企業の行動について説明したうえで、市場の基本的な機能について講義する。	●		
		B経済104	ミクロ経済学(応用)	2	2-0	2	前又は後	市場の限界について講義するほか、各経済主体が戦略的状况にある、あるいは保有する情報に格差があるといった従来のミクロ経済学では扱いきれなかった分野を講義する。	●		
		B経済105	マクロ経済学(基礎)	2	2-0	2	前又は後	経済全体の生産、雇用、消費、投資の決定メカニズムと、景気循環や経済成長の要因などについて講義する。	●		
		B経済106	マクロ経済学(応用)	2	2-0	2	前又は後	マクロ経済体系について学習し、財政政策や金融政策による政府の介入効果について講義する。	●		
		B経済107	社会科学のための統計(応用)	2	2-0	2	前又は後	経済データの分析を行うために必要な基礎的な統計学の理論について講義する。		●	
		B経済108	社会科学のための統計(基礎)	2	2-0	2	前又は後	社会科学研究を行う上で習得すべき基礎的なデータ処理と統計学の基礎を講義する。		●	
		B経済205	地域経済入門	2	2-0	1～2前	前又は後	人口減少や都市化(過疎・過密)が進む中で、地域経済・社会や地方財政が抱える様々な問題を取り上げ、経済学の視点から考察する。			●
		B経済206	国際経済入門	2	2-0	1～2前	前又は後	国際貿易、国際直接投資、国際金融の基礎知識について講義する。			●
		B経済207	経済史入門	2	2-0	1～2前	前又は後	近代から現代における経済成長の過程及び諸産業の発展過程を講義する。			●
		B経済208	社会政策入門	2	2-0	1～2前	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を、地域再生、文化政策、貧困問題など今日的テーマで考えていく。			●
		B経済254	沖縄経済入門	2	2-0	1～2	前又は後	沖縄への含意を念頭に、島嶼における持続的・自律的な社会と経済について様々な視点から考察する。			●
		B経済301	日本経済史	2	2-0	2～3	前又は後	近世から近代における経済政策、諸産業の発展過程とその際に生じた公害問題、環境問題などについて講義する。			●
		B経済302	西洋経済史	2	2-0	2～3	前又は後	コロンブスによる「新大陸」の発見に始まる西洋を中心としたグローバリゼーションと、アジアへの工業化の波及について講義する。			●
		B経済303	経済政策論	2	2-0	2～3	前又は後	経済政策に関わる諸原理と経済理論の政策的応用。日本経済や世界経済を取り巻く構造と変化、政策対応。市場機構と資源配分、経済成長と経済安定化、グローバル化の経済への影響、エネルギー、環境、社会保障など。			●
		B経済304	財政学	2	2-0	2～3	前又は後	公共サービスの提供、予算、税制、財政赤字、社会保障、財政政策など、様々な財政学のテーマを取り上げ、その現状と課題を理解しながら、財政の見方を養う。			●
		B経済305	金融論	2	2-0	2～3	前又は後	金融経済に関わる経済理論を体系的に講義する。			●
		B経済306	計量経済学	2	2-0	2～3	前又は後	基礎的な計量経済学を概説する。			●
		B経済307	国際経済学	2	2-0	2～3	前又は後	国際貿易、国際直接投資の理論・政策について講義する。			●
		B経済308	ゲーム理論	2	2-0	2～3	前又は後	ゲーム理論に関する初中級の内容を講義する。			●
		B経済309	環境経済学	2	2-0	2～3	前又は後	環境問題や環境政策を経済学の視点から読み解くための基礎知識を学ぶ。			●
		B経済310	労働経済学	2	2-0	2～3	前又は後	労働供給、労働需要の理論的な理解を土台として、賃金や雇用、失業のメカニズムを学習する。			●
		B経済311	公共経済学	2	2-0	2～3	前又は後	公共部門の存在根拠、公共部門による活動やその効果について、主にミクロ経済学の視点から解説する。			●
		B経済312	開発経済学	2	2-0	2～3	前又は後	発展途上国の貧困問題を経済学的に考察し、経済開発や開発援助のあり方などについて学習する。			●
		B経済313	社会政策論	2	2-0	2～3	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を考える。社会保障、労働問題、地域再生、文化政策などの分野や「子どもの貧困」などの今日的課題も取り扱う。			●
		B経済314	法と経済学	2	2-0	2～3	前又は後	経済モデルを使い、経済学がどのように法制度を説明するのかを不法行為・所有権法等の分野を通して講義する。			●
		B経済315	情報処理実習	2	0-2	2～3	前又は後	インターネットの活用とホームページの作成について学習する。			●
		BDS317	データサイエンスのためのPythonプログラミング	2	0-2	2～3	前又は後	データサイエンスを学ぶ上で必須となるプログラミングの知識を実践的に学ぶ。(授業内でプログラミングを行うため各自パソコンを持参)			●
	応用科目	B経済402	地域政策論	2	2-0	2～4	前又は後	地域の公共政策的課題や経済・産業振興に関する諸課題について取り扱う。地域における政策主体や政策目的、地方自治体レベルでの、産業政策、医療・福祉、交通、都市政策等のの政策形成プロセス。			●
		B経済403	都市経済学	2	2-0	2～4	前又は後	東京一極集中の問題をはじめ、交通混雑、土地利用、住宅や企業の立地、環境、財政など都市が抱える様々な問題を学習する。			●
		B経済404	ファイナンス理論	2	2-0	2～4	前又は後	金融資産の概略、価格付け等に関する理論を講義する。			●
		B経済405	応用統計学	2	2-0	2～4	前又は後	時系列モデルや一般化線形モデルなど、主に経済データの分析に利用されるより発展的な統計分析の手法について講義する。			●
		B経済406	応用計量経済学	2	2-0	2～4	前又は後	計量経済学の応用編。ミクロ計量分析やマクロ計量分析について講義する。			●
		B経済407	社会経済史	2	2-0	2～4	前又は後	近代都市の形成過程とその際に生じた諸問題について講義する。			●

	心 用 科 目	B経済408	国際マクロ経済学	2	2-0	2～4	前又は後	国際金融の基礎知識、国際マクロ経済の理論・政策について講義する。			●
		B経済409	島嶼経済論	2	2-0	2～4	前又は後	島嶼地域の特性を踏まえた経済のあり方と持続的発展の可能性について考察する。			●
		B経済411	地方財政論	2	2-0	2～4	前又は後	地方分権をめぐる様々な論点を経済学の視点から考察し、我が国の地方財政制度の現状や課題について解説する。			●
		B経済412	アジア経済論	2	2-0	2～4	前又は後	アジア経済の発展パターンとその要因を経済学的に考察し、他の発展途上国・地域と比較しながら発展のために必要な政策などについて学習する。			●
		B経済413	応用金融論	2	2-0	2～4	前又は後	金融政策、金融機関の業務、金融制度、および金融商品の運用について学習する。			●
		B経済421	競争・公共政策入門	2	2-0	2～4	前	競争政策や公共政策に関わる諸問題に対して、経済学はどう分析し、評価し、政策提言すればよいか、などについてミクロ経済学的アプローチを使い、その基礎について講義する。			●
		B経済499	卒業研究	2	0-2	4	後	卒業論文の作成を行う。	●		
	地 域 ・ 国 際 実 践 力 科 目	B経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	0-2	3	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。	●		
		B経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	0-2	3	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。	●		
		B経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	0-2	4	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。	●		
		B経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	0-2	4	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。	●		
		B経済551	実践経済学Ⅰ	2	2-0	2～4	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。			●
		B経済552	実践経済学Ⅱ	2	2-0	2～3	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。			●
		B経済553	実践経済学Ⅲ	2	2-0	2～4	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。			●
		B経済554	実践経済学Ⅳ	2	2-0	2～4	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。			●
		B経済555	実践経済学Ⅴ	2	2-0	2～3	前又は後	実践経済学のうち、とくに社会的インパクト投資に関する学習を集中的に行う。			●
		B経済556	実践経済学Ⅵ	2	2-0	2～4	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。			●
		B経済557	実践経済学Ⅶ	2	2-0	2～4	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。			●
		B経済558	実践経済学Ⅷ	2	2-0	2～4	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。			●
		B経済414	協同組合論	2	2-0	2～3	前又は後	地域再生を実践する主な主体として市民活動と協同組合を想定して、実践的な地域再生と仕事おこしの方法を学習することを目的とする。			●

規程第18条関係 卒業要件
経済学プログラム(夜間主コース)

1.卒業単位は合計124単位とする。

2.共通教育科目は40単位とする。

授業科目の区分				指定科目	必修	選択	選択必修	必要単位数	備考
※1 共通教育	基盤領域	第1外国語		・英語又は英語以外の一つの外国語 ・第一外国語が英語の場合、「大学英語」、 「英語講読演習中級」を含む	6	10		6単位以上	
		第2外国語		・英語又は英語以外の一つの外国語 ・第二外国語が英語の場合、「大学英語」を含む	4			4単位以上	
		データリテラシー		「情報科学演習」	2			2単位以上	
		キャリア・ダイバーシティ		「キャリア形成入門」	2			2単位以上	
		健康運動系		指定科目なし	2			2単位以上	
	教養領域	学問分野別教養	人文社会科学	指定科目なし	6	2		6単位以上	
			自然科学	指定科目なし	4			4単位以上	
		琉大特色・地域創生		指定科目なし	2			2単位以上	
		グローバル							
	小計				28	10	2		
	①共通教育総計				40				

(※1)共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。
アカデミックスキル科目は卒業要件の単位には含めません。
3.専門教育科目は94単位以上とする。

科目区分			指定科目	必修	選択	選択必修	必要単位数	備考			
専 門 教 育	専 通 学 目 門 基 部 科 盤 共	専 門 基 盤 力 科 目		基礎演習	2		8単位以上	経済系科目2科目を履修すること			
						6					
	プ ロ グ ラ ム 専 門 科 目	経 済 学 プ ロ グ ラ ム 専 門 科 目	(基礎科目)	ミクロ経済学(基礎)	8		22単位以上	46単位以上			
				ミクロ経済学(応用)							
				マクロ経済学(基礎)							
				マクロ経済学(応用)							
				データサイエンスのためのPythonプログラミング		4					
				社会科学のための統計(基礎)							
				社会科学のための統計(応用)							
				社会科学のための数学(基礎)							
			社会科学のための数学(応用)								
			(応用科目)	卒業研究	2		16単位以上				
		14									
	地域・国際実践力科目	地域・国際実践力演習Ⅰ 地域・国際実践力演習Ⅱ 地域・国際実践力演習Ⅲ 地域・国際実践力演習Ⅳ	8			8単位以上					
専門教育選択科目			※3		30		30単位以上				
小計				20	60	4					
②専門教育総計				84							
①+② 合計				124							

- (1)学部共通基盤専門科目は合計8単位以上を履修すること。
○学部共通基盤専門科目の中から経済系科目2科目を履修すること。
- (2)プログラム専門科目は合計46単位以上を履修すること。
○経済学プログラム専門科目は、合計38単位以上履修すること。
○地域・国際実践力科目は、合計8単位以上を履修すること。
- (3)専門教育選択科目は、合計30単位以上を履修すること。
○※3 学部共通基盤専門科目、経済学プログラム専門科目、及び地域・国際実践力科目で、必要単位数を超過して取得した単位は、専門教育選択科目の単位とすることができる。
○他プログラム・他学部提供の専門科目(教職科目含む)は、専門教育選択科目の単位として 読み替えることができる。
- (4)登録上限単位数及び上限超過基準については、別紙を確認すること。
(5)卒業要件に算入できる遠隔授業の単位数は、60単位を上限とする。ただし、単位認定を受けた科目(認定科目)のうち、遠隔授業の科目も含む。
(6)原則として、必修以外の科目について昼間主コースに開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。